

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
86	明星大学	都市経済学 1	小林 健太郎 経済学部 准教授	2	前期	金	15	14:40～16:10	明星大学 日野キャンパス	若干名

【到達目標】

行動目標

予習及び復習のために、シラバスの項目と照らし合わせ、教科書の該当部分を精読すること。
 ミクロ経済学における家計及び企業の行動を、都市経済の分析に応用する方法を身に付ける。
 毎回、講義時間後半に、簡単な小テストを出題するので、ここで出題される内容については、可能な限り正確に理解すること。

到達目標

現実の都市経済にかかわる問題を、都市経済学的な枠組みを用いて、特にミクロ経済学を用いて解釈・表現できるようになる。

【授業の概要】

この講義では、主として都市経済の問題を経済学的な手法を通して見ていく。都市経済学の理論は応用的な問題であるため、理論と現実の問題が密接に関連している。しかし初学者にとっては、理論がどのような現実の問題を表しているのか対応付けが難しいこともあるため、講義の中で具体的な事例をできるだけ多く取り入れていきたい。

【授業内容】

1. ガイダンス及び都市経済分析のための経済学(概要)
2. 立地分析のためのミクロ経済学の基礎(ゲーム理論の考え方)
3. 商業立地の経済分析 ホテリングモデル
4. 価格競争と立地選択
5. 需要及び輸送費用と立地に関する分析 中位点立地
6. 輸送費用の性質と立地 ウェーバーの工業立地論
7. 中心地理論と都市システム
8. 土地利用分析のための家計・企業行動の基礎
9. 単一中心都市モデルにおける家計の行動
10. 単一中心都市モデルにおける企業の行動
11. 単一中心都市モデルの応用 比較静学分析による都市境界の変化(拡大・縮小)
12. 地価と地代の考え方 収益還元法による地価評価の経済学的な基礎
13. 住宅市場と住宅政策
14. 都市経済学 1 の総まとめ
15. 講義内容理解状況の確認

【成績評価方法】

原則として期末試験の結果により評価をおこなう。

【教科書、参考書、教材等】

教科書: 地域経済学入門[第3版] / 山田浩之・徳岡一幸[編] (有斐閣コンパクト) / 2,205 円
 参考図書: 都市・地域経済学への招待状 / 佐藤泰裕 著 (有斐閣スタディア) / 1,800 円
 参考図書: 新エコノミクス 都市経済学 / 山崎福寿・浅田義久 著 (日本評論社) / 2,300 円
 参考図書: 都市と地域の経済学(新版) / 黒田達朗・田淵隆俊・中村良平 著 (有斐閣ブックス) / 2,700 円

※ この授業は、4/10(金)が初回です。